

日立ストレージ管理ソフトウェア「JP1/HiCommand シリーズ」のラインアップを拡充 DLCM における管理機能を強化し、運用効率を大幅向上

日立製作所 情報・通信グループ(グループ長&CEO:古川 一夫、以下、日立)は、総合ストレージソリューション「DLCM(Data Life Cycle Management)ソリューション」を支えるストレージ管理ソフトウェア「JP1/HiCommand シリーズ」に、階層ストレージリソース管理「Tiered Storage Manager」とストレージレプリケーション監視「Replication Monitor」を追加し、本日から販売を開始します。本製品により、データのライフサイクル全体にわたって管理機能が強化され、運用効率を大幅に向上することが可能となります。

なお、本製品は、経済産業省が2003年度から3年間の予定で推進している「ビジネスグリッドコンピューティングプロジェクト」における広域分散ストレージ技術開発の成果を適用したものです。

従来、紙・マイクロフィルムなど非電子データの形で保存されていた文書等が、近年、電子データとして保存・活用されるようになり、データの多様化や容量増加に伴うデータ保有・管理コストが増大しています。また、データは時間とともにその利用価値が変化していくものであり、データの作成から破棄に至るまでのライフサイクル全体にわたって、セキュアで長期に、かつ効率的なストレージ管理を行う DLCM ソリューションの必要性が高くなってきました。

今回、「JP1/HiCommand シリーズ」のラインアップに「Tiered Storage Manager」と「Replication Monitor」を追加し、拡充します。「Tiered Storage Manager」は、複数のボリュームを任意にグルーピングことができ、多階層に構成されたストレージ装置間において、アクセス頻度の低いデータを低コストストレージへ移行するなどユーザーの目的にあわせてデータを一括して移行することができます。さらに、システムを止めることなくデータを移行できるオンラインマイグレーション機能により、長期保存でのストレージ全体の使用効率、運用効率を大幅に高め、TCOの最適化を支援します。

また、「Replication Monitor」では、ストレージ装置内及び装置間において実行されるレプリケーション(複製)の構成や稼働状態を定期的に監視し、それらを一括表示することにより、障害が発生した場合でもその影響範囲を総合的に把握し対処できるため、企業のデータ保護を支えるバックアップ/ディザスタリカバリシステムの安定稼働が図れます。

なお、今回提供する製品は、ビジネス環境の変化に即応した柔軟かつ最適なシステム構築や運用の実現によって IT リソースの存在を意識させず、ユーザーがコアビジネスに集中できる環境を提供する日立のサービスプラットフォームコンセプト Harmonious Computing に基づいています。

新製品の主な特長

(1)階層ストレージリソース管理 「JP1/HiCommand Tiered Storage Manager」

- ・業務を止めることなく、オンデマンドでデータを目的のストレージへと移行できるオンラインマイグレーション機能を提供します。「SANRISE Universal Storage Platform」の仮想化技術との連携により、多階層のストレージ(オンラインストレージ、ニアラインストレージなど)間でのデータの移行も容易に実現します。
- ・複数のボリュームをユーザーの目的に合わせてグルーピングし、一括してデータを移行することが可能となるため、アクセス頻度の低いデータの低コストストレージへの移行や業務、ディスクアレイ装置単位でのデータ移行等が容易に実現でき、ユーザーの目的に応じた効率的な操作・管理を実現します。

(2)ストレージレプリケーション監視 「JP1/HiCommand Replication Monitor」

- ・複数のストレージに分散しているデータに対し、ストレージ装置内及び装置間において実行されるレプリケーションの構成や稼働状態を一元的に監視でき、またサーバ単位やディスクアレイ装置単位などに関連付けし、レプリケーション全体の状態を容易に把握できます。これらのレプリケーションを一括表示することで、レプリケーションで発生する回線障害などの問題やその影響範囲を速やかに特定することが可能です。
- ・特定のレプリケーションに対してあらかじめ監視条件を設定しておくことで、Replication Monitor が障害の発生を検知した際に、自動的に電子メールで管理者に通知させることができます。

製品の価格・提供時期(国内)

ストレージ管理ソフトウェア「JP1/HiCommand シリーズ」

名称	概要	価格 (税込)	出荷時期
JP1/HiCommand Tiered Storage Manager	ボリュームをグルーピングすることで、多階層に構成されたストレージ装置間において、ユーザーの目的に応じた効率的なオンラインマイグレーションを実現する。	122 万 2200 円 ~	2005 年 4 月中旬
JP1/HiCommand Replication Monitor	「SANRISE シリーズ」のストレージ装置内及び装置間において実行されるレプリケーションの構成や稼働状態を一元的に監視することで、バックアップ/ディザスタリカバリシステムの安定稼働を図れる。	18 万 3750 円 ~	2005 年 3 月中旬
JP1/HiCommand Dynamic Link Manager	データ入出力パスの負荷分散や障害時の自動切替により、「SANRISE シリーズ」へのデータアクセスの高速化と高可用性を提供する。	84 万円 ~	出荷済
JP1/HiCommand Device Manager	複数・異機種ストレージの設定を共通管理ビューにより一元化することで、ストレージの構築・管理を簡素化する。	63 万円 ~	2005 年 2 月 21 日
JP1/HiCommand Provisioning Manager	複数サーバへの「SANRISE シリーズ」のボリューム割り当て・拡張作業を簡素化する。	44 万 1000 円 ~	
JP1/HiCommand Tuning Manager	サーバ・スイッチから「SANRISE シリーズ」までの性能・容量情報を監視・分析・予測することで、SAN 全体の安定稼働を支援する。	73 万 5000 円 ~	
JP1/HiCommand Protection Manager	「SANRISE シリーズ」の高速レプリケーション機能とデータベース・ファイルシステムを統合的に制御することで、高速で確実なオンライン DiskToDisk バックアップ・リカバリを提供する。	189 万円 ~	

注) 網掛け部分が今回の新製品。それ以外の既存製品についてはバージョンアップ。

製品ホームページ

- ・JP1/HiCommand シリーズホームページ : <http://www.hitachi.co.jp/jp1/>
- ・SANRISE シリーズホームページ : <http://www.hitachi.co.jp/sanrise>

他社商標注記

- ・記載の会社名および製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

取り扱い事業部・照会先

株式会社 日立製作所 情報・通信グループ
SAN ソリューション事業部 事業推進本部 プロダクト事業推進部 【担当: 神田】
〒250 - 0872 神奈川県小田原市中里322 - 2
電話: 0465 - 47 - 1111(大代表) 内線5525

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
